



1月 はとぐみだより

令和3年1月26日(火)

津田このみ学園

新しい年を迎え、お正月休みが終わり久しぶりに登園してきた子どもたち。「公園で凧あげしたで!」「おうちでカルタいっぱいした!」「おもち全部で5個も食べたよ」とお休みの間の出来事をたくさん話してくれました。1月に入り、寒さの厳しい日も増えてきましたが、園庭では寒さに負けず、思い切り体を動かして遊ぶ元気いっぱいな声が響いています。



おとどけものでーす!

はとぐみでは郵便屋さんごっこが盛り上がっています。ポストを部屋に置くと、「郵便屋さんのカバンがいる!」と5歳児のAさんが言い、さっそくカバン作りが始まりました。「ここ切るから持っといてな!」「今私がやったから次は〇〇ちゃんがやる?」と、友達とやりとりしながら協力する姿が見られ、一度にたくさん手紙を運べる素敵なカバンが完成しました。

「年賀状書くとき、名前と住所書いたで!」「手紙出すとき、切手貼らな届けてくれへんのやで」「じゃあ切手作ろうよ!」と、知っていることを共有しながら、必要なものは自分たちで準備し、遊びを進めています。

友達から手紙が届いて嬉しそうな表情を浮かべる子どもたち。まだ字が書けない3、4歳児も、50音表を見たり、5歳児に書き方を教えてもらったりしながら一生懸命手紙を書き、文字で気持ちを伝える楽しさや嬉しさを感じています。



かさはいらんかね~

大好きな『かさじぞう』のお話で劇遊びをしています。劇遊びを始めると、おじいさんやおばあさんになりきり、次から次へとセリフが出てきて物語が進んでいきます。まるで本物のおばあさんのお話をする5歳児のBさん。なかなか笠が売れないおじいさんの気持ちに寄り添い、最後の力をふり絞って「笠はいらんかね~!!!」と叫ぶ4歳児のCさん。そんなBさんやCさんの姿を見て、「ほんまのおばあさんみたいや~」「おじいさんの笠買ってあげたくなつたわ」と、周りの子どもたちも大絶賛!表情や話し方を自分なりに工夫しながら、登場人物になりきろうとする子どもが増えてきています。また、「おじぞうさんが持ってくる宝がある」「お餅とか魚もつくらなあかんで!」と劇に必要な物も考え、小道具作りも盛り上がっています。

まだまだ表現はパワーアップしていきそうです。これからどんな『かさじぞう』になっていくのか、楽しみです。

